

射水市新湊博物館 運営検討委員会 会議録

- 1 開催日時
令和7年3月6日（木）午後1時30分から午後3時まで
- 2 開催場所
射水市新湊博物館 調査研究室
- 3 出席者
委 員 浅地委員、石黒委員、牛塚委員、藤井委員、森委員、米原委員、
菱手委員
事務局 一松博物館長、稲垣館長代理、松山学芸係長
- 4 欠席者
委 員 なし
- 5 議題及び会議結果
(1) 令和6年度事業進捗状況報告
「資料の収集・整理事業」、「調査・研究活動」、「展示・教育普及活動」、「管理運営事業」、「今後の課題」の項目に沿って報告した。
- 6 会議資料
別添のとおり
- 7 会議経過
会議の冒頭で、射水市新湊博物館運営検討委員会設置要綱の規定により、浅地委員が委員長、米原委員が副委員長に互選された。引き続き浅地委員長が中心となり、議事を進行した。事務局から「令和6年度事業進捗状況報告」について事務局が説明したところ、各委員から次のとおり意見が出された。これらを十分に検討のうえ館の今後の管理運営に反映していくよう求めがあり、これをもって閉会した。

会議録確認者 委員長 浅地 豊

意見

〔全体〕

博物館を安易に観光施設化してはならない。

来館者数で予算が左右される運営は、長期的観点から問題がある。

観光施設ではなく、社会教育施設、生涯学習施設として強く位置付けていくべきである。

後世の市民にとって良い史料を収集し、展示紹介する体制を確立するべきである。

博物館が社会に存在する意味を考えてほしい。

歴史や伝統文化に関する情報が得られるところという期待が寄せられる施設であってほしい。

博物館が存在感を示すことが大事である。

「博物館」という名称が堅苦しい。

「博物館」という名はそのまま、愛称をつけてもよい。

新しいものを取り入れることは重要だが、守るべきものは守ってほしい。

新しいもの古いものも守ってほしい。

博物館の運営指針があるとよい。

〔広報〕

情報発信は、口コミのほうが効果的である。

SNS（Instagram）の発信は効果を期待できる。

SNS（Instagram）のフォロアーを増やす努力をしてほしい。

今の仕事や展示の重要性や新規性をPRしてはどうか。常に何か新しいことをしているという情報発信が大事である。

若い方はもちろん、40代・50代の年齢層に来ていただくように対策を講じてほしい。

〔連携〕

富山県内でも、射水市新湊博物館や射水の歴史について周知の差がある。より広く知っていただくことが大事であり、他博物館とも連携を引き続き図られたい。様々な団体と協力していくべきである。

県内他館と連携してスタンプラリーを行ってはどうか。小学校の夏休みの課題としてもらうといい。

〔施設〕

体を動かす体験やワークショップがあったら良い。

建物外観が汚れているので、周辺施設の整備に伴い、洗浄してきれいにすべきである。

〔周辺再整備〕

博物館西側にホテルが建設される見込みであるが、道の駅の再整備と合わせて博物館の新しい形を模索していく必要がある。見せ方にも工夫が必要となる。道の駅新湊の利用者に博物館へ足を運んでもらうための提携も必要ではないか。道の駅利用者への観覧料割引制度があってもよいのではないか。売店・飲食店との連携が必要である。

〔観光への協力〕

インバウンド観光の中で、獅子舞が注目されているので、取り上げてはどうか。VRなどを活用して祭礼を追体験してもらってはどうか。市内の獅子舞の写真と行われている場所のマップ展示があれば良いのではないか。

〔体験・ワークショップ〕

ワークショップを担うことができるボランティア制度を設けるべきである。ワークショップで小学生でもわかりやすい内容が良かった。子どもが行きたい、やりたいと言えば、保護者が博物館へ連れて来てくれる。古いもの、古いことを今の時代に合わせて体験させることで、若者に経験の場を提供することが大事である。方向性を決めてイベントを仕掛けていくべきである。非日常的な時間を非日常的な場で提供してはどうか。

〔教育〕

小学校・中学校へ活動をPRすることが大事である。県内の他館では、市内小学校・中学校に出前授業を必ず行っている。月ごとに定期的な展示解説をしてはどうか。

以上